

# 令和6年度 校内研究計画

滝沢市立姥屋敷小・中学校 研究部

## 1 研究主題

### 自ら学び共に学びを進める児童生徒の育成

～小・中併設校のよさを生かした思考力・判断力・表現力を高める授業を通して～

## 2 研究主題設定の理由

平成29年3月に告示された「小学校学習指導要領」並びに「中学校学習指導要領」の第1章の「総則」で、「各学校において、『基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。』」、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実に努めること。」と示されている。

それらを受け、本校では「いわての授業づくり3つの視点」、「ユニバーサルデザインの視点」「ICT活用の視点」を校内研究に位置付け、「自ら学びを進める児童・生徒の育成」に取り組んできた。その結果、児童・生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けてきている。このことは、各種学力調査（NRT、県学調、全国学調等）の正答率の結果にも反映されている。

しかしながら、上記の各種学力調査における「応用力が必要な問題」、「自分の考えを説明する問題」、「複数の資料を比較して答えを導き出す問題」、「情報を選び、構成を考えて話す問題」「情報を選び、構成を考えて書く問題」等の正答率が、全国や県の正答率と比べ低い傾向にある。また、本校の児童生徒は、極小規模校のため、授業の中で多様な考えにふれたり、多くの友達に伝わるように話したりする経験が少ない。そのため、聞き手に伝わるよう、感じ取ったことを表現したり考えたことを説明したりすることを苦手とする児童生徒が多い。

このことから、学習指導要領に示されている「未知の状況にも対応できる『思考力、判断力、表現力等』を育成すること」、また、学習の基盤となる「『話すこと』『書くこと』の言語能力育成すること」は本校児童・生徒にさらに必要な資質・能力と捉えている。

よって、前述の教育課題を改善するために研究主題を「自ら学び共に学びを進める児童生徒の育成」とし、副主題を「小・中併設校のよさを生かした思考力・判断力・表現力を高める授業を通して」とした。

「小・中併設校のよさ」とは、「①小学校職員・中学校職員が学習指導や生徒指導において、一人ひとりの児童・生徒に関わる機会が圧倒的に多いことにより、個に応じたきめ細やかな指導ができること。」「②小・中職員が同じ考え方や視点で児童・生徒の指導ができること。」「③各種行事や集会活動、委員会活動等における『異学年・異校種の交流活動』の機会が多いことにより、目的意識や相手意識をもって『話したり、書いたり』する機会が多いこと。」と捉える。

そういった「小・中併設校のよさ」を生かした指導を行うことで、「未知の状況にも対応できる『思考力、判断力、表現力』」、学習の基盤となる「話すこと」「書くこと」の力を高め、自ら学び共に学びを進める児童生徒の育成児童・生徒を育成することにつながると考えた。

### 3 研究の目標

小・中併設校のよさを生かした思考力・判断力・表現力を高める授業を通して、自ら学び共に学びを進める児童生徒の育成児童・生徒を育成する。

9年間を見通した児童生徒像	
小 低学年	課題に対し、自分の考えをはっきりもち、伝えたい事柄を表現できる児童
小 中学年	課題に対し、根拠のある予想や仮説から、必要な事柄を選んで表現できる児童
小 高学年	課題に対し、集めた材料を分類したり関係付けたりし、より妥当な考えを表現できる児童
中学生	課題に対し、自分の立場や考えを明確にし、多様な考えを想定しながら材料を整理し、分かりやすく表現できる生徒

### 4 研究の仮説

小・中併設のよさを生かし、「話すこと」「書くこと」を重点的に指導することで、児童・生徒の思考力・判断力・表現力が高まり、自ら学び共に学びを進める児童生徒が育成されるだろう。

<学習の基盤となる「話すこと」「書くこと」について身に付けさせたい力>

小 低学年	主語述語を明確にして、自分の考えをはっきりと話したり書いたりする。
小 中学年	自分の考えを、理由をつけて話したり書いたりする。
小 高学年	根拠になる事象に基づいて、自分の考えを話したり書いたりする。
中学生	精査した情報を基に、自分の意見を論理的に話したり書いたりする。

### 6 今年度の研究の内容

#### (1) 授業改善の視点から

##### ア 共通指導事項

- ① 学習の必要性や見通しをもつことができる学習課題の設定と工夫
- ② **思考力・判断力を育成し、自分の考えを表現するための学習活動の改善・工夫（「話すこと」「書くこと」を重点とする。）→重点項目**
- ③ 児童・生徒が「分かった」「できた」を実感できる振り返り
- ④ 授業内容の理解促進のための、計画的な家庭学習の課題（宿題）の工夫
- ⑤ 諸調査等の分析と対策（NRT・県学調・全国学調等）

##### イ ユニバーサルデザインの視点から

- ① 授業を「焦点化」するためにICTを用いる。  
ねらいや活動を絞ることで達成感が確認され、学習の主体性や有用が高まる。
- ② 授業を「共有化」するためにICTを用いる。  
友だちや先生の思いや考えを知り、つながることで思考力や判断力、表現力が高まる。
- ③ 授業を「視覚化」するためにICTを用いる。  
視覚的な理解を大切にし、確かな理解のもとで活動することにより基礎的・基本的な能力が高まる。

I C Tを効果的かつ教科横断的にバランスよく活用し，児童生徒のつまづきをカバーすることで，児童生徒は学習内容を「分かる」「できる」と実感し，自信をもてるようになる。

#### ウ 小・中連携の視点から

- ① 9年間を見通した系統表の見直しと更新
- ② 中学校教員による小学校への乗り入れ授業の形態と指導内容の工夫（教科担任制の導入）
- ③ 学習規律の再確認（「10 学習のきまり」参照・必要に応じて改善を行う）

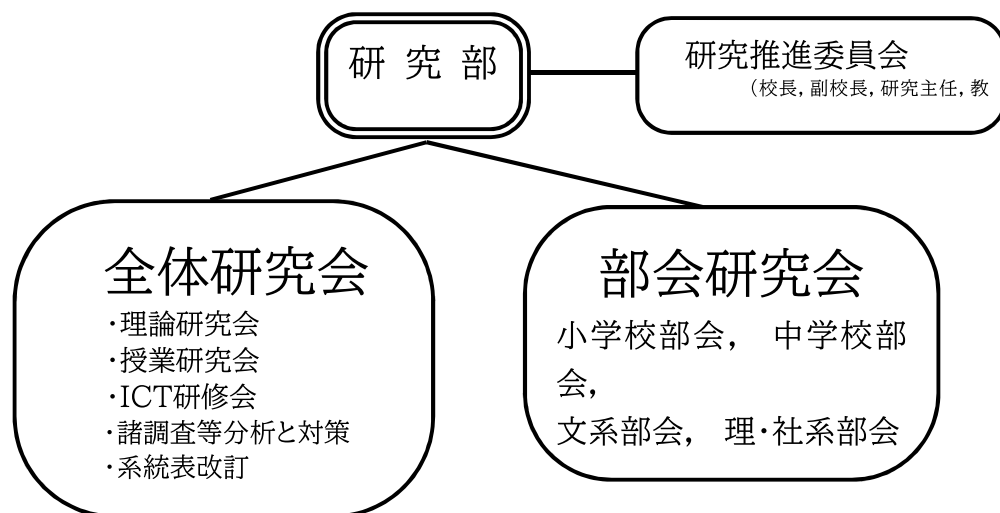
#### (2) その他

- ア 同形態（小規模複式）である柳沢小・中学校との交流を図る。
- イ 学級懇談時に家庭学習の内容や仕方について保護者と共通理解を図る。
- ウ 「活動の足あと」の掲示コーナーによる，活動記録の交流
- エ 新聞の活用

### 7 研究の年次計画

- (1) 令和4年度…「思考力・判断力・表現力」を高めるための授業改善の在り方，柳沢小中学校との連携（互見授業，研究授業の交流や参加）
- (2) 令和5年度…「思考力・判断力・表現力」（話すこと・書くこと）を高めるための授業改善の在り方，柳沢小中学校との連携（研究の方向性の確認，互見授業や研究授業の交流や参加）
- (3) 令和6年度…令和4～5年度の研究を踏まえた「思考力・判断力・表現力」を高めるための授業実践，柳沢小中学校との連携（授業教科，日程等の擦り合わせ）
- (4) 令和7年度…令和6年度の実践の改善（学校公開），研究の検証，研究のまとめ，柳沢小中学校との連携（紀要，まとめ）
- (5) 令和8年度…令和6～7年度の研究を踏まえ，さらに高めるための理論研修及び授業実践

### 8 研究組織



9 年間計画（☆印は未決定，互見授業日は変更の場合有）

	行事	諸調査と分析	研究全体
4月	始業式・入学式（8日） 授業参観（17日）	小4・6，中2NRT（10日） 小3・5，中1知能検査（15日） 小6・中3全国学調， 中1県学調（18日）	校内研①新年度計画①（1日） ・管内研究主任研（26日）
5月	運動会（18日）		互見授業①（29日）〇〇（中・〇） ☆校内研②（指導案検討30日・中）
6月	小5・6年宿泊研修（5～6日） 地区中総体（15日，16日） 市教研（26日）		☆校内研③（特別支援教育SL講座1日） 互見授業②（20日）〇〇（中・〇） ☆校内研④（第1回授業研究会27日・中）
7月	⊕期末テスト（2日，3日） 小・陸上記録会（2日） 終業式（24日）	分析（4月分諸調査）	互見授業③（11日）〇〇（小・〇） 校内研⑤（1学期反省24日）
8月	始業式（20日） ⊕実力テスト（20日）		
9月	⊕修学旅行（3～5日） 小1～4年・生活科社会科見学（12日） ⊕地区新人大会（14～15日） ⊕中間テスト（24～25日）		互見授業④（10日）〇〇（中・〇）
10月	文化祭（12日） 中文祭（17日） 小・音楽会（30日）	小5・中2県学調（2日）	互見授業⑤（1日）〇〇（小・〇） ☆校内研⑥（指導案検討3日・小）
11月	漢字能力検定（〇日） 道徳参観・家庭教育学級（11日） ⊕期末テスト（26～27日）		☆校内研⑦（第2回授業研究会14日・小） 互見授業⑥（22日）〇〇（中・〇）
12月	終業式（25日）	分析（県学調）	校内研⑧（年度末反省・まとめ 25日）
1月	始業式・⊕実力テスト（16日） ⊕スキー教室（24日）		・市研究主任研（28日）
2月	卒業を祝う会（〇日） ⊕期末テスト（12日，13日）		研究推進委員会（19日） 新年度計画⑦（26日）
3月	公立入試（5～6日） 卒業式（13日） 修了式（19日）		

※このほか，現職研修後の伝達講習会を，職員会議時に随時行う。

10 学習のきまり(現行…平成28年度～)

	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生
学習準備・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書・ノート・鉛筆・消しゴム・赤青ペン(鉛筆)・定規を準備する。</li> <li>チャイム席を守る。</li> <li>始めと終わりのあいさつをしっかりと行う。</li> <li>名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をして立つ。</li> <li>正しい姿勢で立つ・座る・書く。</li> <li>終わった授業道具をしまい、次の学習の準備をしてから休む。</li> <li>教室移動は並んで、静かに行う。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;机の上&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             消しゴム えんぴつ・赤青ペン・定規         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             教科書・タブレット ノート 下じき         </div> </div> <p style="text-align: center;">&lt;筆箱のなか&gt;</p> <p style="text-align: center;">○鉛筆5～6本 ○赤・青ペン(鉛筆) ○消しゴム ○定規(15cm程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その他、授業で使うものは、先生と相談して持ってくる。</li> <li>ノートに書くときは、下じきを使う。</li> <li>毎日鉛筆を削ってくる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習道具をそろえる。</li> <li>授業が始まる2分前には席に着く。</li> <li>始めと終わりのあいさつをしっかりと行う。</li> <li>指名されたら「はい」とはっきり返事をして立つ。</li> <li>正しい姿勢で授業を受ける。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">&lt;タブレット使用のとき&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>机上を整理する。・消しゴムは使用しない。・タッチペンや指を使用する。・自分のパスワードを他人に教えない。</li> <li>学習時のみ使用する。(小学校)・担任、担当の指示に従って使用する。</li> </ul>			
話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>「…です。」「…ます。」を使って話す。</li> <li>みんなに聞こえる声で、最後までしっかりと話す。</li> <li>みんなの方を見て話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「…です。」「…ます。」を使って話す。</li> <li>みんなに聞こえる声で、最後までしっかりと話す。</li> <li>みんなの方を見て話す。</li> <li>賛成・反対・付け足しなどをはっきりさせて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「…です。」「…ます。」を使って話す。</li> <li>みんなに聞こえる声で、最後までしっかりと話す。</li> <li>みんなの方を見て話す。</li> <li>賛成・反対・付け足しなどをはっきりさせて話す。</li> <li>理由をつけて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語尾までしっかりと話す。</li> <li>場の状況や相手の様子に応じて話す。</li> </ul>
聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す人の方を見て、最後まで静かに聞く。</li> <li>うなずきながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す人の方を見て、最後まで静かに聞く。</li> <li>うなずきながら聞く。</li> <li>集中して聞く。</li> <li>聞き取れなかったことや、疑問点を質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す人の方を見て、最後まで静かに聞く。</li> <li>うなずきながら聞く。</li> <li>集中して聞く。</li> <li>聞き取れなかったことや、疑問点を質問する。</li> <li>賛成・反対・理由などを考えながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと比べながら、話の内容を正しく聞き取る。</li> </ul>
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆を正しく持って書く。</li> <li>左手をそえて書く。</li> <li>ていねいに書く。</li> <li>マスの決まりを守って書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆を正しく持って書く。</li> <li>左手をそえて書く。</li> <li>ていねいに書く。</li> <li>行の中心に書く。</li> <li>色分けして書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆を正しく持って書く。</li> <li>左手をそえて書く。</li> <li>ていねいに書く。</li> <li>行の中心に書く。</li> <li>色分けして書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>速く丁寧に書く。</li> <li>自分が再読して読めるようにポイント等に色分けして書く。</li> </ul>
音読	<ul style="list-style-type: none"> <li>一字一字正しく読む。</li> <li>はっきり、ちょうどよい速さで読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語のまとまりに気を付けて正しく読む。</li> <li>声の大きさや速さや間を工夫して読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容を考えながら、正しく読む。</li> <li>自分なりに声の大きさや速さや間を考えながら読む。</li> <li>抑揚を付けて読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章構成や内容などを考えながら正しく読む。</li> <li>抑揚を付けて読む。</li> </ul>

※特に学習入門期である小1・2年は随時、学習用具の点検を行い、学習環境の整備に努める。

## 1.1 「活動のあしあと」 掲示計画

### (1) ねらい

- ・活動の目標と反省を見合い、各学年の活動の様子知ること、自分の経験してきたことを振り返ったり、これから経験することをイメージしたりする。
- ・全校児童生徒の掲示をすることで、下学年が書き方や内容について学ぶ。

### (2) 内容

- ・主に、行事に向けての目標と反省を体育館入り口わき掲示板に掲示する。
- ・長期休業明けには、図書館教育で取り組んでいる読書カードを掲示する

### (3) 掲示計画

	小1	小3, 4	小5, 6	中学生
4月	「どうぞよろしく」 (名前と好きな絵)	今年度の目標		
5月	たのしかった 運動会(絵)	運動会		
6月	プール	水泳	宿泊研修・陸上記録会	中総体
7月	夏休み			
8月	夏休み読書カード			
9月	社会科見学			修学旅行・職場見学
10月	文化祭・(市音学会)		文化祭・(中文祭)	
11月				新人戦
12月	冬休み			
1月	冬休み読書カード			
2月	卒業を祝う会			
3月	いちばんがんばったこと		今年成長できたこと	

## 1.2 新聞の活用

### (1) ねらい

- ・政治、経済、文化、スポーツなど、あらゆるカテゴリーの記事や文種に触れることで、読解力・思考力・判断力・表現力を培うこと
- ・地域に根差したニュースを読むことで、岩手県人としての視野を広めること

### (2) 内容(例)

- ・日常的に新聞に目を通すことを習慣づける。→登校したらタブレットを開き、新聞の見出しをチェックする
- ・週末課題として、タブレットを持ち帰り、興味のある記事をスクラップして一言コメントを書く
- ・調べ学習の資料やスピーチ活動のテーマとして使用するなど、各学年の実態に応じて効果的に活用する

### (3) その他

- ・小学校5年～中学校3年までは、岩手日報デジタル版を購読し、費用の年間900円は保護者から集金する。
- ・小学校4年以下は、読売子ども新聞や日報ジュニアウイークリーを活用する。